

会員の皆様からいただいたアンケートを基に集計し文書と致しました。尚、この内容を令和4年10月29日に医師会病院4階講堂で開催されます“日本医療マネジメント学会第21回山口県支部学術集会”で発表させていただきます。ご協力のお礼と共にご参加していただければと思います。

コロナ禍の地域連携と地域貢献～岩国薬剤師会編～

岩国薬剤師会 副会長 河田尚己

1. はじめに

2021年末からの新型コロナウイルス第6波の感染拡大に伴い、医療体制が逼迫していた頃からの岩国薬剤師会の活動や取り組みを紹介する。

2. 目的

無料PCR・抗原定性検査の実施、「Cov自宅・Cov宿泊」へ対応、「モルヌピラビル（ラゲブリオ®）、ニルマトレルビル/リトナビル（パキロビット®）の対応（以後商品名）である。

3. 方法

医療機関でのPCR・抗原定性検査数の増大から医療体制が逼迫したため、2022年1月17日から山口県の委託を受けて無料で受けられるPCR・抗原定性検査を岩国薬

剤師会会営薬局の敷地内で開始した。

対象者は無症状であって感染の心配等による地域住民である。

また市内の会員薬局では2020年4月10日から（0410対応）コロナ感染陽性者になっても医療機関へ入院ができず自宅や宿泊施設での療養を余儀なくされた患者に対して、薬の配送を行なっている。

更に重症患者へは経口抗ウイルス薬のラゲブリオ®、パキロビット®をいち早く備蓄し、処方への対応と同時に療養期間中の服薬フォローアップと共に保健所機能の負担軽減を目的に健康観察を電話にて実施し、保健所へその結果を報告している。

4. 結果

岩国薬剤師会会営薬局での PCR・抗原定性検査数は 2022 年 8 月 31 日までに PCR 検査 1403 回、抗原定性検査 2567 回を行なった。

岩国市内の 82 薬局へのアンケートの結果から、8 月 31 日までに Cov 宿泊へは 1401 回、Cov 自宅へは 2767 回を行なった。

また、ラゲブリオ®の処方応需回数は 317 回、パキロビット®は 9 回であった。その中で服薬フォローアップを行なった人数はラゲブリオ®152 人、パキロビット®9 人であった。尚、全ての事業は現在も継続して行なっている。

5、考察

現在、岩国市内で PCR・抗原定性検査を実施している薬局は僅か 2 薬局しかない。

しかも日常の調剤業務と並行して検査を行なっているためマンパワー不足も余儀なくされている。

これでは岩国市民 13 万 6000 人へ十分な検査は行き届かず、第 8 波の感染者数の増減によっては対応に懸念を感じる。

薬の配送において、岩国市内の僻地や離島も含め、広範囲であり

ながらスピーディーな対応が求められる。

また夜間での配送には苦慮している。今後も、服薬期間中の健康観察は継続性が必要である。

6、おわりに

第 8 波に備えて検査機関の拡充や、配送業務等の体制整備、薬の備蓄、感染者のリスクの軽減のためのフォローが今後も求められる。